

## 日本技術士会北陸本部石川県支部第2回年次大会

### 1. はじめに

令和7年8月2日(土)ANA ホリデイ・イン金沢スカイにおいて石川県支部第2回年次大会・第3回講演会・意見交換会を開催した。以下にそれらの概要について報告する。

日 時：令和7年8月2日(土) 14:00~19:30

場 所：ANA ホリデイ・イン金沢スカイ 18F

トップオブカナザワ

内 容：

#### 年次大会

1. 開会挨拶 副支部長 笹谷 輝彦
2. 報告  
役員・委員紹介  
2024年度事業報告・決算報告  
2025年度事業計画・収支予算  
第52回技術士全国大会(石川・北陸)
3. 閉会挨拶 副支部長 金子 義幸
4. 出席者 35名(内正会員32名)

#### 講演会

1. 開会挨拶 副支部長 埜 正浩
2. 講演「和太鼓文化の伝承」  
浅野太鼓文化研究所理事長 浅野 昭利氏
3. 閉会挨拶 副支部長 笹谷 輝彦
4. 出席者 46名

#### 意見交換会

1. 開会挨拶 副支部長 金子 義幸
2. 乾杯 副支部長 笹谷 輝彦
3. 閉会挨拶 副支部長 埜 正浩
4. 出席者 27名

### 2. 年次大会

年次大会では、事務局から、役員・委員紹介の後、2024年度事業報告・決算報告、2025年度事業計画・収支予算の説明が行われ、承認された。

また、2026年度に石川県で行われる第52回技術士全国大会(石川・北陸)の大会プログラム、大会実行委員会の役割分担などについても説明が行われ、承認された。



年次大会(笹谷副支部長挨拶)

### 3. 講演会

講演会では、浅野理事長のプロフィール紹介の後、「和太鼓文化の伝承」と題し講演が行われた。

和太鼓は、日本の暮らしとともに育まれた「音の文化」であったが、1975年のボストンマラソンでのボストン交響楽団と共演などにより、郷土芸能から舞台芸能へと変化し、世界各地で公演を通じて、和太鼓演奏が世界中に広がった。

また、和太鼓の技術継承として、材料の木や牛皮の種類、原木から太鼓や牛皮が革になるまでの和太鼓づくりの工程や太鼓の種類など紹介とともに、音カメラによる太鼓の音の視覚化など新しい技術についての紹介もあった。

最後に、和太鼓文化の継承には、演奏だけでなく、太鼓づくりの技術や教える力、続ける仕組みも含めて「文化の継承」であり、今後とも次の世代に太鼓文化を引き継いで行けるよう、努力していきたいと講演を締めくくった。



浅野理事長の講演会

### 4. 意見交換会

意見交換会は、金子副支部長の開会挨拶の後、笹谷副支部長の乾杯で開宴した。

意見交換会では、6月12日に急逝された屋敷弘前支部長を偲び、故人が石川県支部設立に大きく貢献されたことが紹介された。その後、参加者同士の名刺交換など交流が行われ、石川県支部の今後の活動内容についてや、来年開催される全国大会に向けて、参加者がそれぞれ意見を交わした。

意見交換会は盛会のうちに埜副支部長の中締め、閉会挨拶で散会となった。



意見交換会の様子

(石川 岡本大誓)